

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

学校名	みやき町立三根西小学校			
-----	-------------	--	--	--

1 前年度 評価結果の概要	・児童の学力向上に向けた取り組みとして「個別最適な学び・協働的な学び」を引き続き行い、ＩＣＴを効果的に活用しながら、学習の基礎、基本の徹底や読書の推進に取り組んでいく。 ・縦割り活動を通して児童の異学年交流を充実させ、集団活動のよさ（協力、主体性、計画性）を体験させる。 ・チームによる指導体制を組みながら、児童理解に努め、個々の良さを伸ばしていく。 ・学校、保護者、地域（幼保小中も含む）が連携を行い、地域の人材を生かして児童の学びの場を広げる。 ・業務に見通しを持ち、より実践的な計画に基づいた働き方を推進する。			
2 学校教育目標	やさしく、かしこく、たくましい三根西っ子の育成			
3 本年度の重点目標	・ 確かな学力…個別最適な学びと協働的な学びの推進 ・ 志を持って学び続け、支え合う教師団…チームによる指導体制、タイムマネジメントの意識化 ・ 地域とともにある三根西小学校…家庭・地域、三根小中、幼保、関係機関との連携、コミュニティ・スクールの推進			
4 重点取組内容・成果指標				
(1)共通評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)		
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践 ・学習内容の定着に向けた分かりやすい授業の実践	○授業がわかりやすいと回答した児童85%以上	・授業の中ににこにこタイム(協働的な学び)をしくみ、学力定着へつなげる。 ・特別支援教育コーディネーター等と連携し、個別最適な学びを取り入れる。	研究研主任 学力向上対策コーディネーター
	○ICTの利活用	○「定期的に行った職員研修(年1回以上)はICT利活用にも有効だった」と回答した教師80%以上	・全体研修や研修動画を用いた研修を年間に3回以上行う。 ・職員に困ったことがあったら、ミニ研修を適宜行う。	情報担当
	○読書の充実	○読書の充実に向けて、効果的な手立てが取れたと答えた教師85%以上 ○読書をしたと思う児童の割合が70%以上	・児童が利用しやすい、楽しく落ち着いた図書館作りやイベントを行う。 ・おすすめの本15冊達成者を紹介したりして、読書活動を促す。	図書館教育
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「誰に対しても思いやりの心を持ち優しくしている」「友達と助け合い、仲良くなろうとしている」に肯定的に回答した児童が85%以上	・アンケートを年に2回実施し、変容をみる。 ・学級活動や縦割り活動を行い、自己肯定感や自己有用感の高揚を図る。	道徳教育推進教師 人権・同和教育担当者
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○いじめ防止等について組織的に対応できたと回答した教師85%以上	・生徒指導事案の情報を確実に共有し、組織的に動くことができる仕組みづくりを行う。 ・いじめの対応についての研修や会議を年間に3回以上行う。	(主)生徒指導 (副)各学年主任
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」と回答した児童90%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした児童90%以上	・各教科や学校・学級行事で全ての児童に出番を作り、良さや頑張りを積極的に見付け、ほめる。。 ・学校行事や総合的な学習の時間、各教科の取り組みを通して、児童に、夢をもつことや、夢に向かって努力することの大切さを実感させる。	(主)キャリア教育 (副)各教科主任
	○教育相談の充実	○なかよしアンケートや教育相談週間において、児童と十分に関わることができたと回答した教師85%以上	・なかよしアンケートを年に6回、教育相談週間を年に2回設定し、担任と全児童の面談を実施する。	教育相談担当
●健康・体づくり	●「運動習慣の改善や定着化」	○授業以外で運動や外遊びなど体を動かす時間が1日に30分以上の児童生徒70%以上	・スポーツ委員会による外遊びや運動の啓発活動を実施し、体を動かす時間を増やすよう促す。	保健主事 体育全般 食育推進担当者
	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	○「健康に良い食事をしている」児童生徒90%以上	・生活アンケートから児童の食生活実態に応じた指導や保護者への啓発を行う。	
	○縦割り活動・縦割り掃除の充実	○「縦割り活動の良さを実感することができた」と回答する児童85%以上	・「縦割り掃除」に加え、歓迎遠足や運動会等の、「縦割り活動」の取り組みを積極的に取り入れる。	清掃担当
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・衛生委員会で1ヶ月間の働き方を見直し、一人一人が意識できるよう見える化していく。 ・年休計画表を作成し、意識的に年休をとる職員を増やす。	管理職
	○チームによる指導体制の充実	○「ペア学年や支援学級担任に相談したり、アドバイスしたりすることができた」と回答する教師85%以上。	・「ホットタイム」の時間を月に1回程度設定し、気軽に相談したり、話したりできる場を設ける。	管理職
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育に興味をもち、支援や指導を行うことができた」「特別支援教育について理解することができた」と回答する教師85%以上	・日頃から教職間で情報共有に努め、児童支援連絡会やケース会議を通じて、全校級で特別支援教育を推進する意識を高める。	特別支援コーディネーター
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				主な担当者
重点取組			具体的取組	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)		
○防災教育の充実	○防災教育の充実	○「避難訓練や学習で学んだことを意識して、生活している」に肯定的に回答する児童90%以上	・日頃から放送が始まったら会話や動きを止めて、放送に耳を傾けるように指導する。 ・社会科見学や、出前講座などを利用し、防災教育の機会を増やす。	・安全・防災教育担当
○関係機関との連携	○三根幼保小中の連携 ○コミュニティスクールの推進	○幼保小連携や小小連携、小中連携の行事や交流会、連絡会等を、それぞれ年に3回以上行う。 ○「学校と地域の連携ができています」と回答する保護者85%以上	・小1ギャップや中1ギャップの軽減のため、交流会や行事の共有などで、幼保小連携、小小・小中連携の推進を図る。 ・地域の人材を活用した学習に取り組む。	・教務 ・教頭
●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育				
5 総合評価・ 次年度への展望	・ ・ ・			